

大会に参加する際の注意

(R2年度 茨城県高体連卓球専門部・審判部)

選手と監督の皆さんに、大会に参加するうえで最低限知っておいていただきたい卓球ルールを抜粋しました。
なお茨城県高体連主催大会は日本卓球ルールを用いて11本5ゲームスマッチで試合を行います。

<新型コロナウイルス感染対策>

- ・練習時も含めて日頃から手洗いやうがいの励行をお願いします。
- ・日頃より体温測定をして37.5℃を超えるときには会場への入場を見合わせてください。
- ・応援席は1席以上離して着席。大声による応援は控えていただき、拍手のみでお願いします。
- ・密集するミーティングは極力避けていただき、常に人と人との間隔は原則2メートルを確保してください。
- ・監督・引率責任者は選手と応援関係者全員の健康チェックシートを取り纏め、受付で提出する。
(監督・引率者は館内入場時点で今年度JTТАの役職者章もしくは受付発行の入場者証を着用する。)

※試合のチェンジエンドは当面行いません。

※試合前のラケット交換については自分のラケットを相手に見せる形式で実施します。

※シューズの裏を手で拭くこと、卓球台の上で手を拭くことのないようお願いします。

※会場内での選手や審判・コーチへの挨拶を行う際に身体接触による握手等のご遠慮ください。

※現在コロナ禍ですので、審判は通常業務通りにならないこともあるかと思えます。ご協力お願いいたします。

(ユニホーム・パンツ等)

- ・ダブルスのパートナーと、団体戦のベンチに入る8名は、ユニホームとパンツをそろえる。
- ・大会の際は、基本的に2種類のユニホームを準備し、対戦相手と同じユニホームになってしまった場合は、ジャンケンを行い、負けたチームはユニホームを変える。
- ・ユニホームの裾を基本的に出してはいけない。(出してよいユニホームもある)
- ・白色を基調としたユニホームは禁止となりました。
- ・アンダーウエアを着るのは良いが、ユニホームの袖から大きくはみ出さないものとする。そして、メーカーのロゴが見えてはいけない。
- ・ゼッケンは、安全ピンを肩甲骨のあたりにとめる。
- ・高校生の試合にふさわしくない髪型や装飾品をつけての試合はさせない。

(学校対抗戦)

- ・ベンチ入りは8名である。
- ・ベンチ入り以外の帯同審判員2名は審判をすることは出来るが、ベンチで応援をすることは出来ない。
- ・オーダー(4単1複)を出す際の注意で、1番と2番に出場する選手同士がダブルスを組むことは出来ない。ただし、ダブルスを組んだ選手が4番と5番に出ることは出来る。

(ダブルス)

- ・各ゲームの最初にサーブを行うペアが、第1サーバーを決めることが出来る(例えば1ゲーム目と3ゲーム目の第1サーバーが同じでも良い)。レシーバー側は各ゲームの第1サーバーを確認して、前のゲームと違う組み合わせになるようにレシーブに入る。

